

人材育成担当・介護職のグループリーダー向け講習 開催!

介護プロフェッショナル
キャリア段位制度

令和元年度

アセッサー講習 受講者募集のご案内

介護の実践スキルの評価で
OJTを通じた人材育成を活性化!



昨年度までに全国で2万人を超えるアセッサーが養成されています。

アセッサー 講習とは?

- 国で定めた全国共通の介護の実践スキル評価項目を用いて、介護現場で実践スキルを評価する「アセッサー（評価者）」を養成する講習です。
- 実践スキルの評価結果を用いた、介護職員のOJTを通じた人材育成方法についても学ぶ講習です。

第1期

集合講習日 11/8 (金)

申込期間 7/2 (火) ~ 8/30 (金)

受講期間 9月中旬 ~ 11/8 (金)

集合講習会場 (予定)

北海道 宮城県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
富山県 静岡県 愛知県 大阪府 兵庫県 広島県
福岡県 長崎県 鹿児島県 沖縄県

1期&2期共に
7/2 (火)
より
受付開始!

第2期

集合講習日 1/31 (金)

申込期間 7/2 (火) ~ 10/31 (木)

受講期間 12月初旬 ~ 1/31 (金)

講習会場 (予定) 東京都

※第2期会場は東京のみで開催予定

~介護職員のキャリアパス形成~

基本介護技術から高度な専門的介護の
実践スキルの評価まで

講習の構成

- ① テキスト学習
- ② eラーニング受講
- ③ トライアル課題実施
- ④ 集合講習受講

講習費用

22,810円(税込)

- 【内訳】
- ・受講料……………19,980円(税込)
 - ・講習指定テキスト代……2,700円(税込)
 - ・払込取扱手数料……………130円(税込)

お申し込み方法

ホームページよりお申し込みください。
<http://careprofessional.org>



介護キャリア段位

検索

お問い合わせ

一般社団法人シルバーサービス振興会 キャリア段位事業部
TEL:03-5402-4882 FAX:03-5402-4884

アセッサーは約23,000人、全国で展開中！

約5,000名の介護職員の方の評価(OJT)を実施中！

介護 プロフェッショナル キャリア段位制度

- 介護職員の「介護の実践スキル」を介護事業所内のアセッサー（評価者）が評価し、その評価結果に基づいて介護の実践スキルレベルを認定する制度です。
- レベル認定者は全国共通の介護スキル評価基準に基づく認定者であるため、介護のスキルを全国で証明することができます。
- 平成24年度に内閣府の実践キャリア・アップ戦略としてスタートし、厚生労働省介護職員資質向上促進事業を経て、介護職員の資質向上を目的とする事業として実施しています。

介護職員のOJTを通じた
人材育成による人材の定着



介護サービスの
質の確保と向上

アセッサー 講習内容

- 科学的手続きを踏まえて抽出された「介護技術評価項目」の詳解
- 根拠に基づいた介護としての評価方法について
- 認知症症状の周辺症状のある利用者やターミナルケアが必要な利用者への対応、介護過程の展開等、専門性を活かした取り組みについて
- 地域包括ケアシステムの取り組みについて
- 評価と介護技術指導者としての役割とOJT実施方法 など



講習受講者の声



アセッサーはただ評価する立場ではなく、人材育成の中心となり、今後の介護現場の成長を支えていくOJT指導の役割を担っていることがわかりました。

eラーニング、トライアル評価、集合講習を通して、しっかり学べる機会となりました。介護職としての専門性と役割が明確になりました。



講習受講者アンケート



96%の受講者が、講習は現場で指導を行っていく上で「有意義」と回答。



98%の受講者が、介護キャリア段位制度が、介護職員の資質向上のためのOJTツールとして活用できると回答。

施設・事業所の法人代表者・管理者からの反響

組織のキャリアパス導入に活用できました！

客観的な評価の仕組みを取り入れたため、職員のやりがいやモチベーションのアップにつながりました。
キャリアパス制度の導入で職員の定着率向上につながりました。
(訪問介護事業所 所長)

OJTを仕組みとしてビルトインできました！

キャリア段位制度の枠組みを用いて、事業所にOJTの仕組みを取り込むことができました。
(通所介護 法人代表者)

人材育成はリスク管理！

日々、「現場で発生しうる事態」に目を向ければ、OJTによる人材育成に取り組んでいくことはリスク管理そのもの。指導できる層の養成と確保は、今後の事業継続の生命線なのです。
(介護老人福祉施設 施設長)

事業所の人材マネジメントに役立ちました！

評価を通じてアセッサーと職員とのコミュニケーションが図られ、職員の良い点・可能性を発見する機会になりました。アセッサーの意識向上とともに、介護職員を指導できるスタッフとして育成されています。
(介護老人保健施設 老健部長)

～OJT指導を通じて職員の介護技術の向上を目指す～

「介護キャリア段位制度」のご案内

全国の2,600を超える事業所が「介護キャリア段位制度」を導入し、介護職員のキャリアアップに向け、人材育成の取組みを実践しています！

介護キャリア段位制度とは

- 介護職員の確保、技術の向上、定着の促進を目的に平成24年度に内閣府で創設された介護現場における『人材育成のためのOJTツール』です。
- 全国共通の評価基準は、食事・排泄介助などの基本介護技術から、感染症対策や部下への技術指導などリーダー層の方に求められる介護技術で構成されています。
- 評価基準が明確であるため、職員のスキルを公平に評価することができます。
- 介護職員処遇改善加算におけるキャリアパス要件Ⅱに対応しています。

アセッサー（評価者）による現場でのOJT指導により、介護職員の技術を向上させ、スキルアップ、キャリアアップを図ります。

◆キャリア段位の技術レベル

レベル4

チーム内でのリーダーシップ
部下に対する指示・指導

レベル3

利用者の状態に応じた介護や他職種との連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践

レベル2

- ②一定の範囲で利用者のニーズや状況の変化を把握・判断しそれに応じた介護を実践
- ①基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践

キャリア段位制度 取り組み事業者の声

- 客観的な評価の仕組みを取り入れたため、職員のやりがいやモチベーションのアップにつながりました。キャリアパス制度の導入で職員の定着率向上につながりました。
- 評価を通じてアセッサーと職員とのコミュニケーションが図られ、職員の良い点・可能性を発見する機会になりました。アセッサーの意識向上とともに、介護職員を指導できるスタッフとして育成されています。

キャリア段位制度に取り組んだ介護職員の声

- 今後、介護を行っていく中で、自分自身のレベルが確立される実感と更なる高みを目指したくなった。
- 「何ができれば評価してもらえるのか」、「何が達成されればキャリア・アップとなるか」が、示されやる気になった。

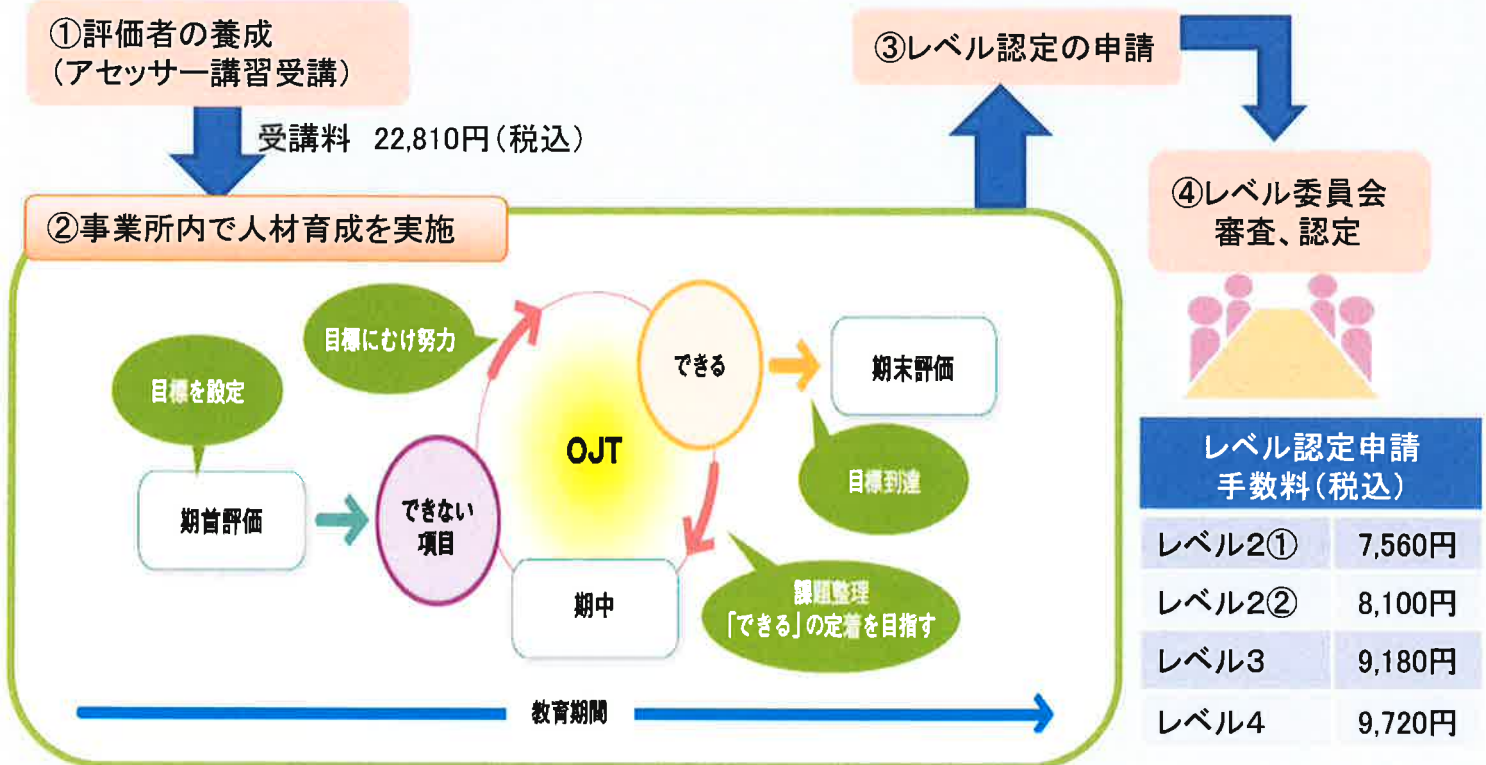
アセッサー（評価者）とは

- ・アセッサーとは事業所・施設内において職員の介護技術を評価・指導する人材です。
- ・これまでに全国で約23,000人のアセッサーが養成、登録されています。
- ・外国人技能実習制度の「介護職種」の試験評価者にはアセッサーの評価スキルが活用されています（試験評価者への登録は別途講習の受講が必要です）。

キャリア段位制度の導入の流れ

1.アセッサーを養成	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所・施設でキャリア段位制度に取り組むことを決める。 ・アセッサー(評価者)となる候補者を決めアセッサーを養成する。
2.内部評価(育成)を開始	<ul style="list-style-type: none"> ・アセッサー(評価者)が評価を受ける被評価者と面談し、目標を設定し、評価・育成を開始する。
3.評価・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・求められている技術を習得できるまで、繰返し評価・育成を行う。 ・目標レベルの技術が出来たようになった後、認定の申請を行う。
4.レベル認定	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者で構成するレベル認定委員会での審査の結果、レベル認定となった場合に介護キャリア段位制度の「レベル認定証」を取得する。

<キャリア段位制度のフロー図>



介護キャリア段位制度についての詳細は

介護キャリア段位制度ホームページをご参照ください。

<http://careprofessional.org>

介護キャリア段位

検索



受講料・手数料は
2019年6月時点。
今後、変更となる
場合があります。